

kokoiko
第9号
2019.7.1

来て 見て 使って つながって

koko iko

コ コ イ コ

地域で輝く若者たち

府中市内を活動場所としてさまざまな活動を展開する大学生たち。それぞれの視点で地域と関わり合う中で、自らも学び、成長していきます。「自分」と「地域」の未来を作り上げていく彼らの活動について、そのきっかけと魅力を聞きました。

contents

- 地域で輝く若者たち
- column 空き家の利活用
- プラッツ登録団体紹介
- プラッツつながりカレンダー
- プラッツよもやま情報

地域で輝く若者たち

目に見えて規模が小さくなって、「地域がなくなる」ことをリアルに感じてきたことから地域活性化に興味を持ちました。人口減少などによって新しい社会の在り方が問われていく中で、自分はその変化をただ見るのではなく、その変化を少しでも良い方向に持っていきたいと思い、活動をしています。

地域と関わる面白さ

上木-私はよくプラッツに来て活動をしているのですが、この場所には「府中をよりよい場所にしたい」と熱い思いを持った人が集まっていて、そういう人の話を聞いたり一緒に活動する中で様々な影響をもらっています。それが面白い、刺激的なところですね。

エリム-私も、人との出会いが面白いなと思っています。私は韓国から留学に来ているのですが、普段学校に通っているだけでは出会えない方たちと知り合い一緒に活動していくことや、関わっている中学生たちが楽しそうに授業を受けてくれることが大きな楽しみです。活動の際はいつも10年後に彼らの成長した姿を見てみるのが楽しみです。

堀口-教師になった先輩の話や先輩の話を聞くと、やはりどろんこの会で地域の方たちや子どもたちと一緒に活動して培った経験が、学校現場でも活かしているのだと思います。例えば先生になって「遊び」をしようと思った時、ネットで調べればルールはわかりますが実際の感覚はわかりません。実践をしていたことによって、「この遊びは楽しいけどすぐに飽きちゃうな」とか、「これはルールが単純だから新しいルールを作れるな」とか、そういう感覚を体験できるところが良いなと思っています。

地域と大学生の新しい関係性

上木-今日の話聞いていても、大学生が地域で活動することで、地域が「学びの場」かつ「実践の場」になり、大学生にとって多くの学びが得られるのではないかと思います。様々なバックグラウンドを持つ学生が集まる大学と、地域社会をつないでいくことで、大学生と地域の新しい関係性を探っていきたいですね。



活動を始めたきっかけは？

堀口-どろんこの会に所属する学生の多くは教育学部の学生なのですが、教職を目指すにあたって、学校の先生になるからこそ、学校では見られない子どもの姿を見ておきたいと思い入部する人が多いようです。どろんこの会の活動によって、学校というシステムの外でどのように子どもたちが生活しているのかを知ることができています。私も最初は軽い気持ちで、「教師になりたい」という理由で入部したのですが、活動をしていく中で、教師になるためには子どもが好きだというだけではだめで、実際の経験を通して子どもとの接し方を学んでいく必要があることに気づきました。

エリム-私は3年生になってからこの活動を始めたのですが、それまではテニスなりバンドなり自分のスキルを上げるサークルに入っていました。けれど3年生になって、誰か自分以外の人に貢

献する活動をやってみたくらい、この活動に参加し始めました。また、私は国際教育のゼミに入っているのですが、日本の教育のシステムについて知らないことが多かったため、学校と関わりながら活動出来ることは大きな魅力でした。

上木-私の場合、きっかけは大学の先生の言葉でした。私は地域生態システム学科に所属していたのですが、「君たちは農工大にとって一番身近な『地域』である府中のことを知っているのか？」と問われ、地域という言葉が入っている学科にいなから何も知らないことに気づいたんです。それまでは家と大学までの往復で、関わりもなく府中に対して知識も愛着もなかったのですが、府中市で活動していく中でつながりが出来ていき、思い入れが生まれてきましたね。

また、私の地元が消滅可能性都市に該当していて、地元のお祭りも



堀口皓平さん

明星大学教育学部3年、初等教育研究会 どろんこの会代表。
日野市、八王子市の児童館等のほか、府中の6つの文化センターにて、地域のお祭りや文化センターのお祭りの手伝い、子どもに関わるボランティア活動を行っている。



上木康太郎さん

東京農工大学院1年生。空き家の活用を考える府中学生空き家プロジェクトを自ら開始し、2018年12月から府中市の空き家を借りてシェアハウスを運営開始。他、「Youth Action for 府中」の代表をつとめ、地域と若者が関わる機会を創出している。



ウ・エリムさん

東京外国語大学日本語専攻4年。学習支援を行う学生団体「中学生に学ぶ会」代表。市内4つの中学で、塾に行けない子どもたちや外国から来て居場所を持たない子どもたち等に学習支援を行うほか、様々な背景をもつ中学生たちを大学に招いて協働学習を行うなどの活動を行っている。

kokoiko column



空き家という結果に。また、民間予測では、2033年ごろには空き家数2,150万戸、なんと3戸に1戸が空き家になると予想されています。そんな状況を踏まえ、若い世代を中心に空き家を再利用しようという動きが広まっています。シェアハウスやゲストハウス、コワーキングスペース、空き店舗を活用した飲食店や居場所づくりなど、その可能性は無限大。空き家の活用には様々な課題もありますが、多様な人々に関わることで、空き家から新しい価値が生まれていきます。

空き家の利活用

高齢社会の進行等の社会変化に伴い、現在日本の空き家の数は増え続けています。平成31年4月に公表された住宅・土地統計調査によると、全国の空き家数はおよそ846万戸。全住宅の13.55%が空

府中市市民活動センター プラッツ 登録団体紹介

創作工芸 ルリユール

手作りの本を作る創作コミュニティです。月に1回集まり、製本技術を応用して装丁を行っています。会員の中には本の中身を1から作る方もいるそうです。本に限らず手帳や御朱印帳のカバーなども作成しています。作業だけではなく情報交換も行っています。

ルリユールとはフランス発祥の書籍文化です。こだわりのカバーを作り、本を仕上げることを言います。ルリユールの技術を伝える講師の津村明子さんは、「手作りの本を作ることで学んだ技術を自分の生活の中で活かすことができ、自分で作る楽しさを感じることができる。」と話していました。会員募集中なので、気になった方は最終土曜日に生涯学習センターで、ご一緒にクラフトの楽しさに触れてみてはいかがでしょうか！

市民記者：うえき



府中親子ボードゲーム会

ボードゲームを通して、親子で多くの人とコミュニケーションが楽しめるイベントを、2か月に1回開催しています。ゲームはUNOなどお馴染みのものから、ちょっと変わったものまで50種類以上が勢ぞろい!!

ボランティアスタッフのパパ・ママさんを中心に市内の大学生も加わり、参加者と一緒に楽しんでいる姿が印象的です。また、イベントがない月にはスタッフの家族で楽しく勉強会も開催しています。

学校以外で友達を増やしたい!面白いボードゲームをしてみたい!お子さんと一緒に新しい遊びを見つけない!という方は、参加無料なので是非お気軽にお立ち寄り!確実に参加したい場合はご予約をどうぞ。(小学校3年生以下の子は必ず保護者と一緒に来て下さいね♪)

市民記者：パンダまん



団体登録しませんか？

プラッツの登録団体になると、団体活動スペースの予約利用や印刷室、各種貸出機材の活用、さらにWebやチラシ等での情報発信支援、各種イベントへの出展など、メリットがいっぱいです!府中を拠点に、地域や社会のためになる団体活動を展開している皆さまは、プラッツ総合受付にお越しください。ご登録お待ちしております。 ※詳細はホームページをご覧ください。

団体登録情報は
こちらから



7月

OPEN 2周年

- 3 (水) NPOのためのバックオフィス講座
- 6 (土) 膝痛予防・体操のイロハ
- 24・31 (水) 団体・組織 スキルアップ講座
- 28 (日) 胸骨圧迫とAED
- 28 (日) 作って食べて触れてみよう!
僕たち私たちの地域の食材
- 28 (日) プラッツひろば交流会

—ほぼ毎月開催—

- 第2日曜日 若いぼくらにできるコト
- ときどき 遊び場ぶらっと
(コミュニケーション&ボードゲーム)
- ときどき プラっとカフェ 7/21 (日)

8月

地域の祭りに参加

- 9(金)~11(日) 商工まつり
- 18 (日) 林恭子講演会
- 21 (水) 助成金の活用講座
- 24 (土) 25 (日) けやきフェスタ
よさこいin府中



毎週月曜日 ラジオでまちづくり

毎週月曜日 勉強カフェ

1.3水曜日 キッズスペースミニイベント

9月

地域と共に

中学生職場体験

- 1 (日) みんなの学校 (上映会&講演会他)
- 11 (水) テーマが伝わるチラシ講座
- 27 (金) 子育てひろばのわ



1.3水曜日 プラッツ相談所

最終金曜日 しごとバー府中

第5回府中市民協働まつり 参加団体(実行委員)大募集!

「活動を知ってもらいたい!」「一緒に活動する人を募集したい!!」「CSRの取り組みを伝えたい!!!」そして、いろいろな団体や組織の人たちとつながって、新しい何かを始めたい!など、熱い思いをお持ちの団体の皆さん、市民協働まつりにご参加ください。参加者一人ひとりが主役です。協力してワクワクする楽しいイベントを作りましょう。お待ちしております。

◆開催日程:

11/23 (土・祝) /24 (日) 両日10:00~16:00

◆開催場所:

府中市市民活動センター プラッツ (ル・シーニュ5,6階) 他



プラッツ よもやま情報

毎月開催!若いぼくらにできるコト

若いぼくらにできるコト(わかぼく)は、プラッツで毎月行っているトークショー。

話すのは、高校生や大学生等、様々な活動をしている人たち。こんな生き方をしている人もいるのか!こんな考え方があったんだ!という発見のある会です。身近にいる様々な人の話を聞いてみましょう。

◆開催日程…毎月1回日曜日 15:00~16:00…

7/14 「TOEIC245点が留学してみた」

8/18 「Dive into Art!~アートにとびこめ!」

9/8 「大学生が『地域』のできること」

府中市市民活動センター プラッツ6階 青少年スペース



編集後記

プラッツは7月で2周年を迎えます。人と地域をつなげるコミュニティの場として、たくさんの皆さまにご利用いただいております。新しい事業も次々と立ち上がり、さらに市民協働を推進できる場として発展できるよう、スタッフ一同頑張ります。是非一度プラッツにお越しください。新しい出会いと発見が待っているかも……

府中市市民活動センター プラッツ

TEL 042-319-9703 / FAX 042-319-9714

MAIL info@fuchu-platz.jp http://www.fuchu-platz.jp/

〒183-0023 東京都府中市宮町1-100 ル・シーニュ5、6階
(京王線「府中駅」南口直結)

プラッツHP



2019年7月1日 kokoiko第9号

発行責任者 館長 吉田恭子

©2017 府中市市民活動センター運営グループ

